※令和３年度以前入学生用

学校番号	101

令和５年度地歴・公民　科

教科	地歴公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済 新訂版　（実教出版）						
副教材等	最新政治・経済資料集　新版　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済の授業は、日本および国際社会の現状を理解し、諸課題について考察することによって、自らの考えを形成するための授業です。基本的な知識を身につけ、自分の意見を表現するとともに他人の意見を聞くことによって公正な判断力が養われます。したがって、積極的・主体的な授業参加が求められます。

2　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○現代の政治，経済，社会,国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち,意欲的に探究しようとしているか。 ○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。 ○国家･社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加,協力する態度を身につけているか	○現代の政治，経済，社会,国際関係などにかかわる基本的な問題,人間にかかわる諸課題を考察し,それらの本質や特質,さらには望ましい解 決のあり方について広い視野に立って多面的,多角的に考察しているか。 ○社会の変化やさまざまな立場,考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。	○現代の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し，有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，社会の諸問題を探究する学び方 を身につけているか。	○現代の政治，経済，社会,国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的,総合的に理解し,その知識を身につけているか。

※令和３年度以前入学生用

評価方法	・定期考査 ・授業への取組み（発表の姿勢・レポートなど） ・提出物	・定期考査 ・授業への取組み（発表の姿勢・レポートなど） ・提出物	・定期考査 ・授業への取組み（発表の姿勢・レポートなど） ・提出物	・定期考査 ・授業への取組み（発表の姿勢・レポートなど） ・提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期(中間まで)	現代の経済	1 資本主義経済のしくみ 2 資本主義経済の課題と社会主義経済の変容 3 労働関係の改善 4 消費者問題 5 社会保障制度の充実	 ○ ○ 		 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	a:経済のしくみと、日本経済の特徴について、実生活と結びつけて、意欲的に探究している。 b:経済のしくみと日本経済の特徴について、他国と関連付けその動向を考察している。 c:経済のしくみと、日本経済の特徴について、統計資料やグラフなどから、正確に情報を読み取ることができる。 d:経済のしくみと、日本経済の特徴について基本的な知識を習得しその内容を理解している。	学習状況 レポート 定期考査
一学期(期末まで)	現代の経済	1 財政のしくみと働き 2 租税と国債 3 資金の循環と金融市場 4 日本銀行と金融政策 5 経済主体と経済活動	 ○ ○ ○		 ○ 	○ ○ ○	a:経済のしくみと、日本経済の特徴について、実生活と結びつけて、意欲的に探究している。 b:経済のしくみと日本経済の特徴について、他国と関連付けその動向を考察している。 c:経済のしくみと、日本経済の特徴について、統計資料やグラフなどから、正確に情報を読み取ることができる。 d:経済のしくみと、日本経済の特徴について基本的な知識を習得しその内容を理解している。	学習状況 レポート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

二学期(中間まで)	現代の経済	1 市場経済の機能と限界 2 景気変動と経済成長 3 インフレーション とデフレーション 4 日本経済の発展 5 今日の日本経済 6 中小企業と農業	○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:経済のしくみと、日本経済の特徴について、実生活と結びつけて、意欲的に探究している。 b:経済のしくみと日本経済の特徴について、他国と関連付けその動向を考察している。 c:経済のしくみと、日本経済の特徴について、統計資料やグラフなどから、正確に情報を読み取ることができる。 d:経済のしくみと、日本経済の特徴について基本的な知識を習得しその内容を理解している。	学習状況 レポート 定期考査
二学期(期末まで)	現代の経済	1 国際経済のしくみと現状 2 為替相場のしくみ 3 国際協調と国際経済機関 の役割 4 地域的経済統合の動き 5 経済摩擦問題 とグローバル化 6 国際経済の諸問題 と日本の役割	○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:国際経済のしくみと、特徴について、実生活と結びつけて、意欲的に探究している。 b:国際経済のしくみと特徴について、日本経済と関連付けてその動向を考察している。 c:国際経済のしくみと特徴について、統計資料やグラフなどから、正確に情報を読み取ることができる。 d:国際経済のしくみと特徴について基本的な知識を習得しその内容を理解している。	学習状況 レポート 定期考査
三学期	現代の政治	1 国際社会と国際法 2 国際連合の役割と国際協力 3 第二次世界大戦後の国際社会 4 今日の国際社会 5 国際政治の特質と国際紛争の諸原因 6 核兵器の廃絶と軍縮問題 7 国際平和と日本の役割	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:国際社会が抱える問題やその解決に向けた動きについて意欲的に探求している。 b:国際社会が抱える問題について日本の立場と他国の関係を踏まえてその解決に向けた動きを多角的に考察することができる。 c:国際社会が抱える問題に関連した文献や統計・写真資料を適切に選択し、正確な情報を読み取ることができる。 d:国際社会の経済・政治やそれに関連した国際問題について基本的な知識を理解する。	学習状況 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。